



東日本大震災から15年

3月11日(水)、南三陸町総合体育館で「東日本大震災南三陸町追悼式」が執り行われました。震災から15年の節目を迎え、ご遺族やご来賓、町民など約500人が参列し、犠牲となられた方々へ黙とうと献花をささげ哀悼の意を表しました。式では町長が式辞を述べ、ご遺族代表の木皿和輝さんが犠牲となった父への想い、震災後自分を支えてくれた地域の方々への感謝とこれからの決意を述べました。

なお、在日オーストラリア連邦駐日臨時代理大使政務担当公使のシュアート・ワッツ氏、在日オーストラリア大使館広報文化部の三瓶雅子氏、在日オーストラリア・ニュージーランド商工会議所名誉会頭のメラニー・ブロック氏、駐日チリ共和国大使館特命全権大使二等書記官のアドリアン・ディアス氏、台北駐日経済文化代表処駐日代表政務部次長の李慧珊氏にもご参列いただきました。



旭桜寮生が新たな門出

3月1日(日)生涯学習センター大会議室で、南三陸高校旭桜寮の卒寮式が行われました。式では、卒寮生が寮生活を通して得た学びや仲間との思い出、地域での経験を振り返りながら、これまで支えてくれた寮関係者や地域の方々へ感謝の言葉を述べました。また、在寮生からは先輩へ送る言葉が贈られ、温かい雰囲気の中で新たな門出を祝いました。最後に記念品の贈呈と記念写真撮影が行われ、思い出に残る節目の式となりました。



防災に取り組む海外専門家

国際交流基金とオーストラリア国際問題研究所が実施する「AIIA-JFインド太平洋ネットワーク・フェロウシップ」訪日研修が3月4日(水)に行われました。防災分野の若手・中堅専門家らが視察や意見交換を通じて、本町の震災の教訓や防災・減災の取組について理解を深め、町長を表敬訪問しました。